

PV 5年生 理科

冬休みの宿題



1

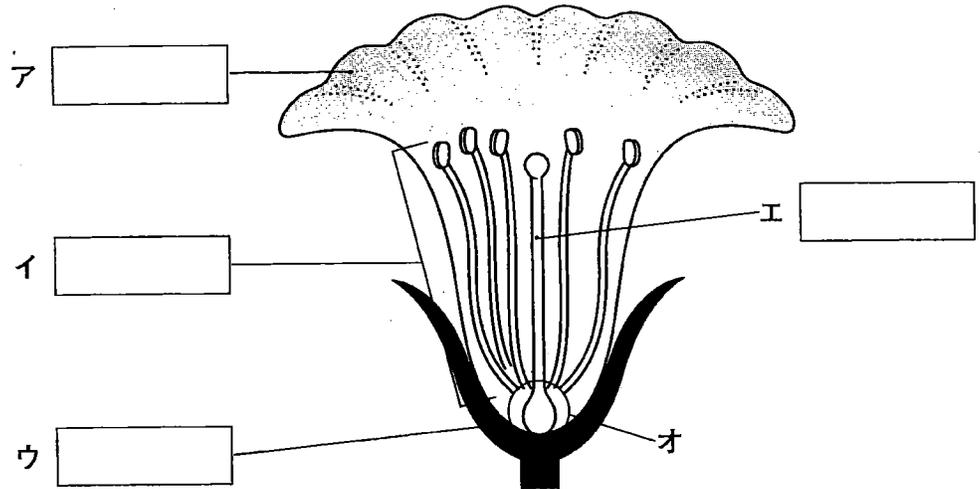
生命のつながり(5) 植物の実や種子の作り方

組
名前

100

① アサガオの花のつくりを調べました。

各5点/9 (知識・理解)



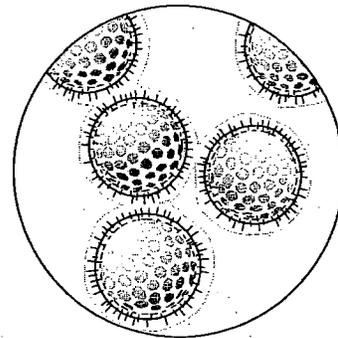
① ア～カの部分の名前を、図の□の中に入れてください。

② ア～オのうち、実になるのはどれですか。

()

③ 開いている花のイの先には粉がついており、
けんび鏡で見ると右の図のように見えました。
これを何といいますか。

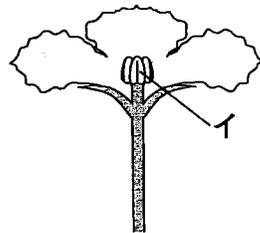
()



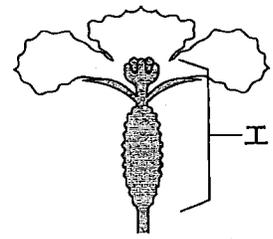
④ イの先についている粉が、カの先の部分につくことを何といいますか。

()

⑤ ツルレイシでは、イ・カが別々の花についています。それぞれの花の名前を
()の中に入れてください。



()



()

2

流れる水のはたらき

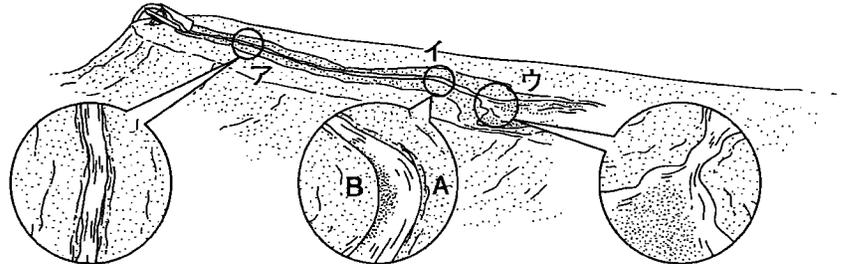
組

名前

100

① 土でゆるい坂をつくり、流れる水のはたらきを調べる実験をしました。

各5点×7 (知識・理解)



ア…まっすぐ流れているところ

イ…曲がって流れているところ

ウ…流れのゆるやかなところ

- ① イの場所で、水の流速が速いのはAとBのどちらですか。 ()
- ② イの場所で、土が積もりやすいのはAとBのどちらですか。 ()
- ③ イの場所で、岸がけずられやすいのはAとBのどちらですか。 ()
- ④ 土がいちばん積もるのは、ア～ウのどの場所ですか。 ()
- ⑤ 次の文の()にあてはまる言葉を、下の□から選んで書き入れなさい。

流れる水が、地面などをけずることを(), けずったものをおし流すことを(), 積もらせることを()という。

たい積^{せき} 運動 しん食^い こう水^{ずい} 運ばん^{うん}

② 川の上流と下流のようすについて調べました。

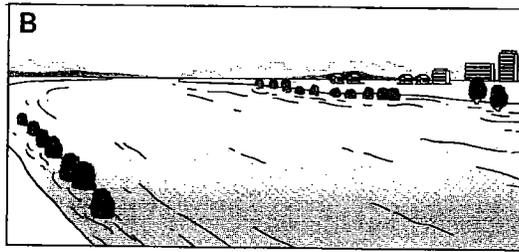
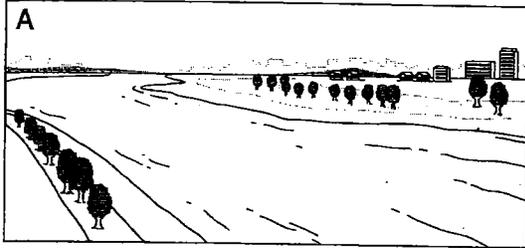
①～④各5点×4、⑤10点 (知識・理解)

- ① 川の流速が速いのは、上流と下流のどちらですか。 ()
- ② 川原が広がっているのは、上流と下流のどちらですか。 ()
- ③ 大きな石が多くあるのは、上流と下流のどちらですか。 ()
- ④ 小さくて丸みをもった石が多くあるのは、上流と下流のどちらですか。 ()
- ⑤ 川の上流と下流で、石のようすがちがうのはなぜですか。

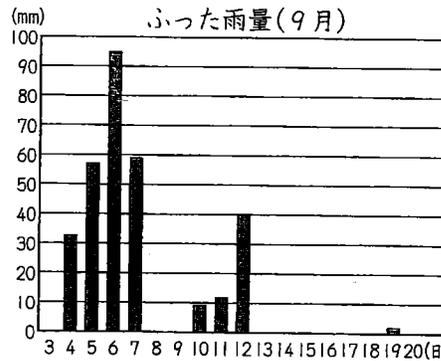
[]

③ 下のA, Bの図は9月7日と9月20日に、同じ場所から見た川の様子を表しています。

各5点、③ (思考・表現)



① 右の9月にふった雨量のグラフをもとに考えると、9月7日の川の様子を表しているのはA, Bのどちらですか。()



② ①のように考えたのはなぜですか。

[]

③ 川の水の流れが速いのは、A, Bのどちらですか。()

④ 次の表の2つの図は、こう水にそなえた工夫です。それぞれの名前を下のAの [] から、それぞれの説明を下のBの [] から選んで、表の中に記号を書き入れなさい。

各5点、④ (知識・理解)

図		
名前		
説明		

A ア 遊水地 (ゆうすいち) イ スーパーていぼう (supā-tēibō) ウ さぼうダム (sabō-damu) エ 地下調節池 (ちかていせつち)

B カ はばを広げ、じょうぶにして、ていぼうの上を多目的に利用しているもの
 キ 雨水をたくわえ、川の水の量を調節するもの
 ク 石やすなが一度に流れることをふせぐもの

3

もののとけ方

組

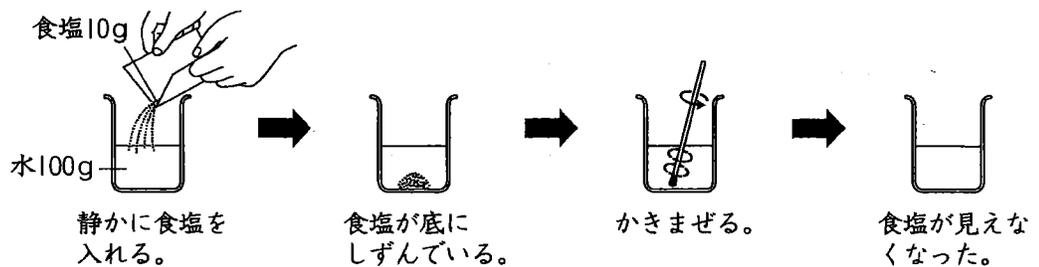
名前

100

- ① 水よう液すいようりきについての正しい説明を1つ選んで、()の中に○を書き入れなさい。 10点 (知識・理解)

- () すべての水よう液は、色がついておらず、とうめいである。
- () 水よう液には、色がついているものについていないものがあるが、すべてとうめいである。
- () 水よう液には、とうめいなものととうめいではないものがある。

- ② 下の図のようにして、水 100g に食塩 10g をときました。各 10点×3 (知識・理解)

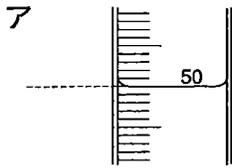
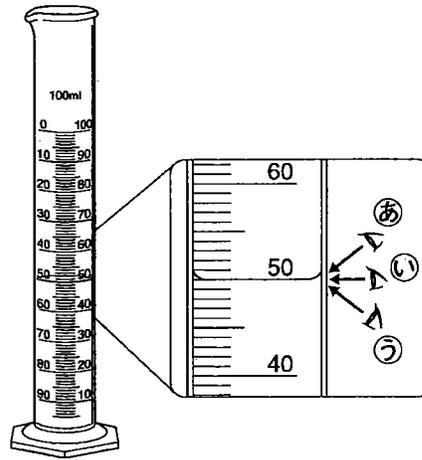


- ① 食塩が全部とけきって見えなくなったときの、水よう液の重さは何gですか。
()
- ② 60gの水に、食塩をある量だけ入れてかきまぜたら、全部とけました。この水よう液の重さをはかると、72gでした。水にとかした食塩の量は何gですか。
()
- ③ 決まった量の水にとける食塩の量についての説明として、正しいほうの()に、○を書き入れなさい。
- () 食塩は、決まった量の水にかぎりなくとける。
- () 食塩は、決まった量の水にとける量にかぎりがある。

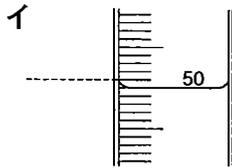
3 水の体積をはかります。

(技能)

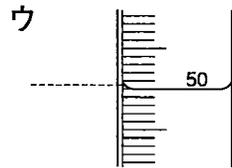
- ① 水の体積をはかるときに使う右の図の器具を何といいますか。 10点 ()
- ② 目もりを読むときの目の位置として正しいものを、右の図の㉑～㉓から選びなさい。 5点 ()
- ③ 目もりの読み方として正しいものを、下のア～ウから選びなさい。 5点 ()



水面のへこんだところの目もりを読む。



ふちのもり上がったところの目もりを読む。



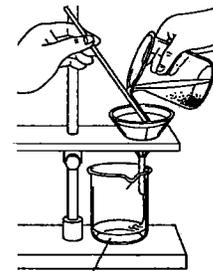
ふちのもり上がったところと、へこんだところの真ん中を読む。

- ④ 図のとき、水の体積は何 mL ですか。 10点 ()

4 水 50 mL にホウ酸^{さん} 5 g を加えてよくかきまぜたところ、とけ残りがありました。この水よう液をあたためたところ、とけ残りがへりました。 各 10点 / 3 (思考・表現)

- ① とけ残ったホウ酸をとかすには、水よう液をあたためる以外にどのような方法がありますか。 []

- ② あたためたホウ酸の水よう液をしばらく置いておいたところ、とけていたホウ酸がふたたび出てきました。このホウ酸を右の図のようにしてとりのぞきました。図のようにして、液体をこしてまざっている固体をとりのぞくことを何と
いいますか。 ()



ホウ酸をとりのぞいた液

- ③ ②の出してきたホウ酸をとりのぞいた液について説明したものとして、正しいものを次のア～ウから1つ選びなさい。 ()

ア 液にはホウ酸はとけていない。

イ 液にはホウ酸がとけているので、40℃の湯に入れてあためると、ホウ酸が出てくる。

ウ 液にはホウ酸がとけているので、氷水に入れて冷やすと、ホウ酸が出てくる。

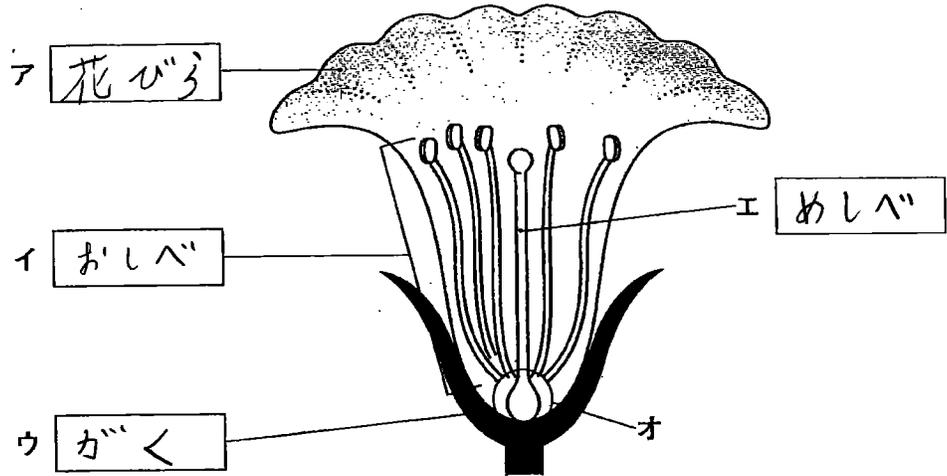
1

生命のつながり(5) 植物の実や種子のつき方

組	
名前	

① アサガオの花のつくりを調べました。

各5点/9 (知識・理解)



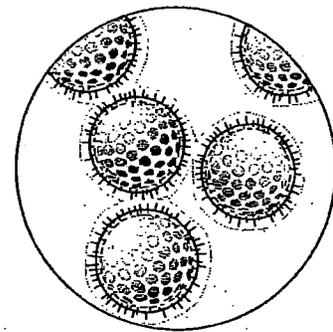
① ア～エの部分の名前を、図の□の中に入れてください。

② ア～オのうち、実になるのはどれですか。

(オ)

③ 開いている花のイの先には粉がついており、
けんび鏡で見ると右の図のように見えました。
これを何といいますか。

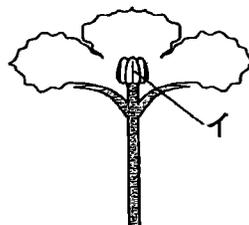
(花粉)



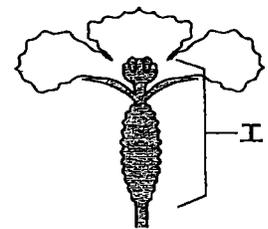
④ イの先についている粉が、エの先の部分に
つくことを何といいますか。

(受粉)

⑤ ツルレイシでは、イ・エが別々の花についています。それぞれの花の名前を
()の中に入れてください。

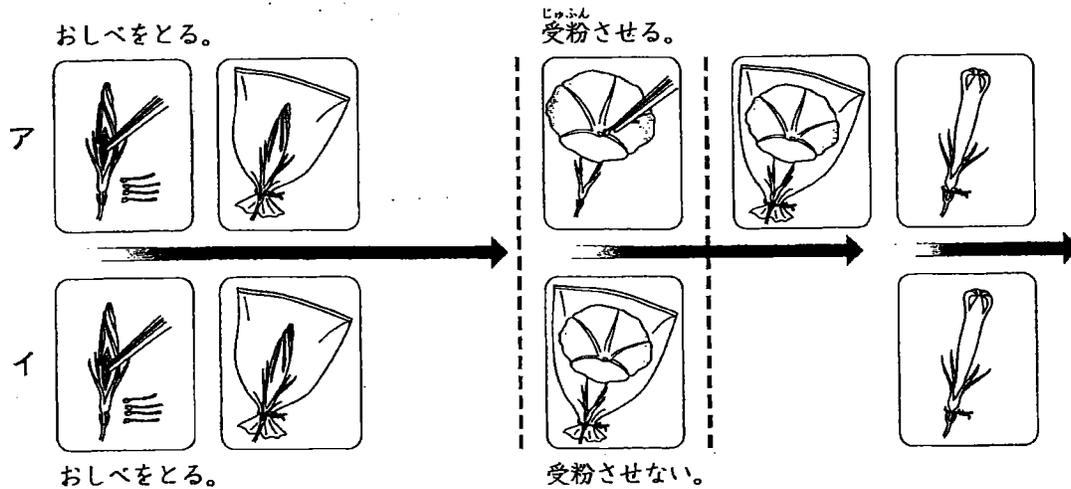


(おげな)



(めげな)

2 アサガオを使って、下の図のような実験を行いました。①②は(技能)、③④は(思考・表現)



① この実験で、はじめにおしべをとり去っておくのはなぜですか。 5点

〔花が開く前に(実験をする前に)、受粉するのをふせぐため。〕

② アサガオの花に、ふくろをかけるのはなぜですか。 5点

〔ほかの花の花粉で受粉するのをふせぐため。〕

③ 実ができるのは、アとイのどちらですか。 5点 (ア)

④ この実験から、アサガオの実についてどのようなことがいえますか。 10点

〔アサガオの実ができるためには、受粉する必要がある。〕

3 次の文の()にあてはまる言葉を、下の.....の中から選んで書き入れなさい。

各5点/6 (知識・理解)

メダカや人など多くの動物は、(受精卵)が変化しながら成長し、子どもとなる。その子どもが育って親となり、次の世代の子どもが生まれる。

アサガオなど多くの植物は、種子から(発芽)して成長し、しばらくして花がさく。そして、(受粉)すると、(めしべのもと)がふくらんで実ができる。実の中には次の世代の(種子)ができる。

生物は、このようにして次の世代へと(生命)をつなげていく。

めしべのもと 種子 生命 受精卵 発芽 受粉

2

流れる水のはたらき

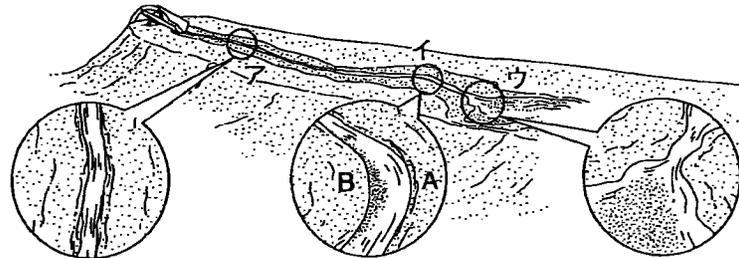
組

名前

100

① 土でゆるい坂をつくり，流れる水のはたらきを調べる実験をしました。

各5点×7 (知識・理解)



ア…まっすぐ流れているところ

イ…曲がって流れているところ

ウ…流れのゆるやかなところ

- ① イの場所で，水の流れが速いのはAとBのどちらですか。 (A)
- ② イの場所で，土が積もりやすいのはAとBのどちらですか。 (B)
- ③ イの場所で，岸がけずられやすいのはAとBのどちらですか。 (A)
- ④ 土がいちばん積もるのは，ア～ウのどの場所ですか。 (ウ)
- ⑤ 次の文の()にあてはまる言葉を，下の□から選んで書き入れなさい。

流れる水が，地面などをけずることを(しん食)，けずったものをおし流すことを(運ばん)，積もらせることを(たい積)という。

たい積 運動 しん食 こう水 運ばん

② 川の上流と下流のようすについて調べました。

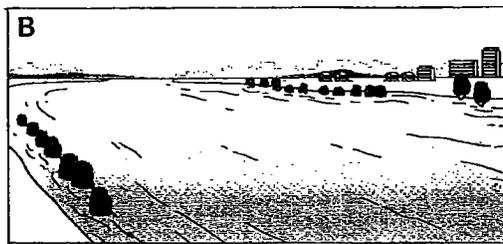
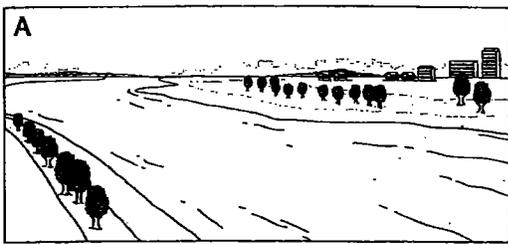
①～④各5点×4、⑤10点 (知識・理解)

- ① 川の流れが速いのは，上流と下流のどちらですか。 (上流)
- ② 川原が広がっているのは，上流と下流のどちらですか。 (下流)
- ③ 大きな石が多くあるのは，上流と下流のどちらですか。 (上流)
- ④ 小さくて丸みをもった石が多くあるのは，上流と下流のどちらですか。 (下流)
- ⑤ 川の上流と下流で，石のようすがちがうのはなぜですか。

[石が流されていくうちに、われりけずりながら、形が変わってくる。]

③ 下のA, Bの図は9月7日と9月20日に、同じ場所から見た川の様子を表しています。

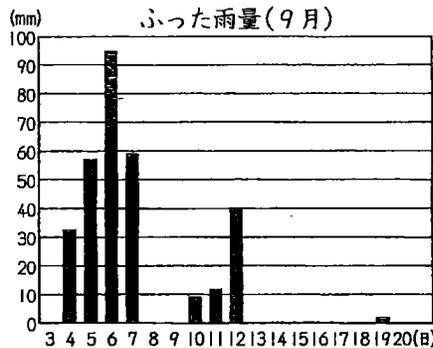
各5点/3 (思考・表現)



① 右の9月にふった雨量のグラフをもとに考えると、9月7日の川の様子を表しているのはA, Bのどちらですか。 (B)

② ①のように考えたのはなぜですか。

雨がふくさんふって
いるから。



③ 川の水の流れが速いのは、A, Bのどちらですか。

(B)

④ 次の表の2つの図は、こう水にそなえた工夫です。それぞれの名前を下のAの [] から、それぞれの説明を下のBの [] から選んで、表の中に記号を書き入れなさい。

各5点/4 (知識・理解)

図		
名前	ウ	イ
説明	ク	カ

A ア 遊水地 (あうすいち) イ スーパーていぼう ウ さぼうダム エ 地下調節池 (ちかていせつち)

B カ はばを広げ、じょうぶにして、ていぼうの上を多目的に利用しているもの
キ 雨水をたぐわえ、川の水の量を調節するもの
ク 石やすなが一度に流れることをふせぐもの

3

もののとけ方

組

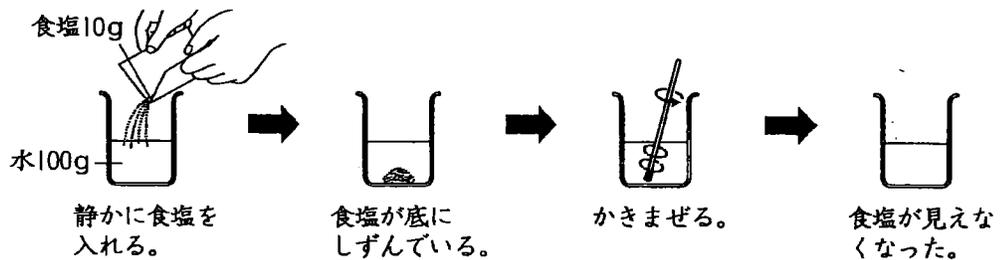
名前

100

- ① 水よう液^{みづようえき}についての正しい説明を1つ選んで、()の中に○を書き入れなさい。 10点 (知識・理解)

- () すべての水よう液は、色がついておらず、とうめいである。
- (○) 水よう液には、色がついているものについていないものがあるが、すべてとうめいである。
- () 水よう液には、とうめいなものととうめいではないものがある。

- ② 下の図のようにして、水 100g に食塩 10g をときました。各 10点×3 (知識・理解)



- ① 食塩が全部とけきって見えなくなったときの、水よう液の重さは何gですか。
(110 g)
- ② 60gの水に、食塩をある量だけ入れてかきまぜたら、全部とけました。この水よう液の重さをはかると、72gでした。水にとかした食塩の量は何gですか。
(12 g)
- ③ 決まった量の水にとける食塩の量についての説明として、正しいほうの()に、○を書き入れなさい。
- () 食塩は、決まった量の水にかぎりなくとける。
- (○) 食塩は、決まった量の水にとける量にかぎりがある。

3 水の体積をはかります。

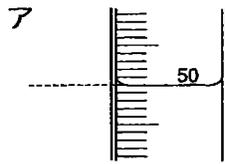
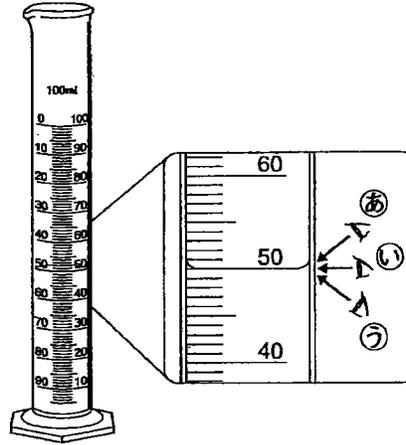
技能

① 水の体積をはかるときに使う右の図の器具を何といいますか。 10点 (メスシリンダー)

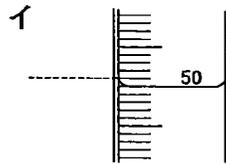
② 目もりを読むときの目の位置として正しいものを、右の図の㉑～㉓から選びなさい。

5点 (㉒)

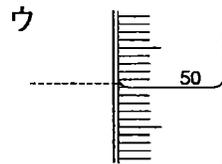
③ 目もりの読み方として正しいものを、下のア～ウから選びなさい。 5点 (ア)



水面のへこんだところの目もりを読む。



ふちのもり上がったところの目もりを読む。



ふちのもり上がったところと、へこんだところの真ん中を読む。

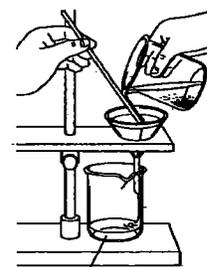
④ 図のとき、水の体積は何 mL ですか。

10点 (50 mL)

4 水 50 mL にホウ酸 5 g を加えてよくかきまぜたところ、とけ残りがありました。この水よう液をあたためたところ、とけ残りがへりました。 各 10点 / 3 (思考・表現)

① とけ残ったホウ酸をとかすには、水よう液をあたためる以外にどのような方法がありますか。 [水の量とふやす。]

② あたためたホウ酸の水よう液をしばらく置いておいたところ、とけていたホウ酸がふたたび出てきました。このホウ酸を右の図のようにしてとりのぞきました。図のようにして、液体をこしてまざっている固体をとりのぞくことを何といいますか。 (ろ過)



ホウ酸をとりのぞいた液

③ ②の出たきたホウ酸をとりのぞいた液について説明したものとして、正しいものを次のア～ウから一つ選びなさい。

(ウ)

ア 液にはホウ酸はとけていない。

イ 液にはホウ酸がとけているので、40℃の湯に入れてあためると、ホウ酸が出てくる。

ウ 液にはホウ酸がとけているので、氷水に入れて冷やすと、ホウ酸が出てくる。